

### 背景・目的

#### 市民、職員双方のオンラインによる利便性の享受

新型コロナウイルス感染症の影響により官民間問わず様々な手続きや取引を、オンライン化するニーズが高まっています。行政においては、住民や事業者が申請する手続きをオンライン化することで、窓口での三密の緩和や、感染拡大の抑制への貢献が可能であり、更に時間や場所にとらわれないオンラインの特性を市民・行政機関が享受できる「安心安全なデジタル・ガバメント」構築の試金石となることを目的とします。



### 実験内容

#### オンライン化を実証する手続き：つくばスタートアップパークコワーキングスペース利用許可申請

##### ●実験の主目的

個人・法人、双方からの申請及び事務処理に関しオンライン化の課題及び効果を検証（eKYC※の活用）

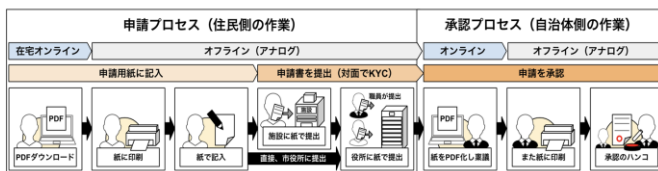
※ electric Know Your Costumerの略でオンライン本人確認手法の一つ

- 期間：2021年3月9日(火)～3月19日(金)
- 場所：オンライン及びつくばスタートアップパーク
- モニター：スタートアップパークコワーキング利用者
- 安全対策：

なりすましによる虚偽申請  
→本人確認（オンライン本人確認システム活用）により、なりすましの抑制と正確な情報を取得します。

- 本実証実験のユニークさ  
法人申請の行政手続きへのeKYC活用可否の検証

##### これまでの申請プロセス



まずは住民側の作業をデジタル化  
(在宅で申請手続きが完結するプロセスに変更)

##### TRUSTDOCK利用による、在宅完結するデジタル申請プロセス（実証実験）



### 実験（検証）結果

- 回答数：31件
- eKYCによる本人確認 78.9%成功
- 行政手続きのオンライン化に対する意見
  - ・体験者の94.4%から、行政手続きオンライン化進展の希望があった。
- 実運用に向けた課題
  - ・申請フォーム入力の利便性向上
  - ・申請フォームと本人確認のスムーズな連携
  - ・eKYCにより否認された申請の後行程処理の検討

#### ●手続きのオンライン化による行政負担の軽減見込

	作業内容	必要日数 平均	必要日数の要因
①	申請者申請書作成～受付	5.51日	・申請者が申請書を記入してから窓口に出すまで日時を要している。(郵送や持込) ・つくばスタートアップパークに提出された場合、スタートアップ推進室に書類を移動させるのに1日程度時間を要する。
②	受付～稟議開始	3.24日	➡ オンライン申請により削減可能。 よって、現在9.11日要している手続日数を半減することができる
③	稟議開始～施行	0.36日	
	合計	9.11日	

(令和3年3月の紙ベースでの申請事務処理状況との比較)

### 今後の展望

#### 「デジタル身分証」の社会実装に向けて

STEP1 市民、職員双方のオンラインによる利便性の享受

STEP2 さらに利便性に向けて →スタートアップパークとの継続トライアル予定

身分証を携帯せずとも自分の身元を証明できる社会、また何度も同じ本人確認をしなくても良い社会を目指したデジタル身分証に関する実証実験を行いたいと考えております。